

2. 古代官衙・寺院跡一覧

No 1: 塩沢寺 (えんたくじ)
所在地: 甲府市湯村
創立: 天暦年間 (947~957) に空也上人が創立
[国志]、空也が建立 [寺記]
調査: 踏査 (1991)
文献: 『甲斐国志』巻之81 佛寺部第9、『甲斐国
社記・寺記』巻2

No 2: 大坪遺跡 (おおつばいせき)
所在地: 甲府市横根町・和戸町
布目瓦: 丸瓦・平瓦
調査: 発掘 (1975・1982)
文献: 『大坪』山梨県遺跡調査団 1976、『大坪遺
跡』甲府市教育委員会 1984

No 3: 鶴栖院 (つるせいん)
所在地: 甲府市朝日3丁目 (横沢町)
創立: 弘仁年間 (810~823) [寺伝]
文献: 『甲斐国志』巻之73 佛寺部第1、『甲斐国
社記・寺記』巻3
備考: 慶長元年 (1596) に改宗し、慶長院と称す
る [寺伝]

No 4: 上土器瓦窯址 (かみどきがようし)
所在地: 甲府市桜井町上土器
布目瓦: 甲斐国分寺と同範の軒丸瓦と軒平瓦・平安
時代の軒丸瓦
調査: 発掘 (1987・1988)
文献: 『甲府市史』資料編第1巻 1989、『山梨
県生産遺跡分布調査報告書』山梨県埋蔵文化
財センター報告第51集 1990

No 5: 川田瓦窯址 (かわだがようし)
所在地: 甲府市川田町
布目瓦: 軒丸瓦・丸瓦・平瓦・鴟尾・埴 (採集)
調査: 発掘 (1989)
文献: 『山梨県生産遺跡分布調査報告書』山梨県
埋蔵文化財センター報告第51集 1990

No 6: 婦命院 (きみょういん)
所在地: 甲府市東光寺
創立: 天正14年 (1586) [寺記]
仏像: 木造阿弥陀如来立像 (平安末期)
文献: 『甲斐国志』巻之74 佛寺部第2・巻之100
人物部第9、『甲斐国社記・寺記』巻4、『甲
府市史』別編 (美術・工芸) 1988

No 7: 興蔵寺 (こうぞうじ)
所在地: 甲府市宮原町
創立: 天治元年 (1124) 開基は新羅三郎義光 [寺
記]
大治年間 (1126~1131) に新羅三郎義光が
創立 [国志]
文献: 『甲斐国志』巻之79 佛寺部第7、『甲斐国
社記・寺記』巻2

No 8: 光増寺 (こうぞうじ)
所在地: 甲府市 (千塚村)
仏像: 善光寺の木造阿弥陀如来及両脇侍像 (藤
原期、国重文) は、もと千塚村光増寺の本尊
であったのを移したものの [国志]
文献: 『甲斐国志』巻之74 佛寺部第2、『甲斐国
社記・寺記』巻2、『甲府市史』別編2 (美
術・工芸) 1988・第1巻 (古代・中世) 1991
備考: 光増寺は武田勝頼が元亀3年 (1573) に所
領安堵した千塚村の光蔵寺に同じか [法泉寺
文書]

No 9: 桜井畑遺跡 (さくらいばたいせき)

所在地: 甲府市和戸町字桜井畑
布目瓦: 軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦・小型瓦・道
具瓦など多量
文献: 『桜井畑遺跡A・C地区』山梨県埋蔵文化財
センター報告第54集 1990
備考: 2間×4間の庇付掘立柱建物跡 (集落内寺
院)、「寺」の墨書をもつ坏 (2号住)、多量
の灯明皿・緑釉陶器香炉片・琥珀製玉 (5号
住)

No 10: 遣通院 (しょうよういん)
所在地: 甲府市桜井町
創立: 天文年間 (1532~1555) [国志]
仏像: 木造地藏菩薩立像 (平安末期~鎌倉初頭)
文献: 『甲斐国志』巻之38 古蹟部第1・巻之74 佛
寺部第2・巻之95 人物部第4、『甲府市史』
別編 (美術・工芸) 1988

No 11: 青松院 (せいしょういん)
所在地: 甲府市山宮町
創立: 大永2年 (1522) [寺記]
仏像: 木造十一面観音立像 (藤原期、県文化財)・
木造不動明王立像 (藤原期、甲府市指定文化
財)
調査: 踏査 (1991)
文献: 『甲斐国志』巻之111 土庶部第10、『甲斐国
社記・寺記』巻3

No 12: 積翠寺 (石水寺) (せきすいじ)
所在地: 甲府市上積翠寺町
創立: 開山は行基 [国志]
文献: 『甲斐国志』巻之82 佛寺部第10

No 13: 雪窓院 (せっそういん)
所在地: 甲府市 (古上条村)
創立: 開山は行基 [国志]
文献: 『甲斐国志』巻之44 古蹟部第7・巻之79 佛
寺部第7

No 14: 長宝寺 (ちょうほうじ)
所在地: 甲府市下積翠寺町
創立: 元禄16年 (1703) [寺記]
仏像: 木造釈迦如来坐像 (藤原末期~鎌倉初期、
甲府市重文)
文献: 『甲斐国志』巻之82 佛寺部第10、『甲斐国
社記・寺記』巻2、『甲府市史』別編 (美術・
工芸) 1988

No 15: 東畑遺跡B地点 (ひがしばたけいせきBち
てん)
所在地: 甲府市横根町・桜井町
仏像: 小金銅仏 (観音菩薩立像、総高11.1cm、像
高9.5cm、銅一鑄、鍍金、白鳳期)
調査: 発掘 (1994) 甲府市教育委員会
文献: 『帝京大学山梨文化財研究所報』第22号
1994、『1994年度上半期 遺跡調査発表会要
旨』1994

No 16: 福王寺 (ふくおうじ)
所在地: 甲府市上町
創立: 夢窓国師が草創 [国志]
仏像: 木造六観音菩薩立像・木造梵天立像・木造
増長天立像・木造地藏菩薩立像・木造菩薩形
立像・神像 (平安中期~後期)
文献: 『甲斐国志』巻之78 佛寺部第6、『甲府市



甲府市東畑遺跡B地点出土の小金銅仏 (実物大)

	史』別編（美術・工芸）1988
No 17：法城寺址（ほうじょうじし）	
所在地：甲府市池田	
創立：養老2年（718）行基が地藏菩薩を自刻し、篠原岡に安置す〔国志〕。	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之44古蹟部第7・巻之46古蹟部第9・巻之74佛寺部第2	
備考：貞観18年（876）に勅額を賜る〔寺記〕。治暦年間（1065～1069）に古上条（甲府市古上条）へ、永禄年間に古府中へ、天正年間に東光寺に移転したと言われる。	
No 18：雲峰寺（うんぼうじ）	
所在地：塩山市上萩原裂石	
創立：天平17年（745）に行基が草創す〔国志〕	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之75佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻2	
No 19：常楽寺（じょうらくじ）	
所在地：塩山市松里	
調査：踏査（1991）	
No 20：七日子廃寺（ななひこはいじ）	
所在地：山梨市七日市場宮の平・塩山市三日月場字乙川戸	
布目瓦：均等唐文軒丸瓦（甲斐国分寺跡のものと酷似）・丸瓦・平瓦	
調査：試掘（1992.11.19～24）本書第2章参照	
文献：川口純一「七日子廃寺出土の字瓦について」『歴史と民俗』2 1978、『日下部遺跡調査報告書』山梨市教育委員会1987、『年報』山梨県埋蔵文化財センター8 1992	
No 21：放光寺〔法光寺〕（ほうこうじ）	
所在地：塩山市藤木	
創立：寿永3年（1184）〔国志〕	
仏像：愛染明王坐像・本尊大日如来坐像・不動明王立像（平安後期、国重文）、銅鐘〔建久2年（1192）銘あり〕	
布目瓦：丸瓦・平瓦	
調査：試掘（1991.11.20～12.13）本書第2章参照	
文献：『甲斐国志』巻之75佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻2、『年報』8 山梨県埋蔵文化財センター 1992	
備考：もとは山岳仏教寺院として、大菩薩峠麓の一之瀬高橋に建立されたものとされる。	
No 22：鴨居寺址〔長福寺〕（かもいでらし）	
所在地：山梨市鴨居寺（西後屋敷村）	
創立：寛治2年（1088）〔国志〕	
調査：踏査（1991）	
文献：『甲斐国志』巻之39古蹟部第2・巻之75佛寺部第3	
備考：鴨居寺は至徳年間（1384～1387）には廃され、慶長年間に再興されたのが現在の長福寺だと伝えられる。	
No 23：日下部遺跡（くさかべいせき）	
所在地：山梨市小原東	
布目瓦：丸瓦・平瓦	
調査：発掘（1948・1949・1957）	
文献：『日下部遺跡調査報告書』山梨市教育委員会 1987	
備考：住居跡約30軒、掘立柱建物跡1棟、墨書土器多数、腰帯具〔銅製丸軋（1・16号）、銅製巡方・鉄製鉸具（2号住）〕	
No 24：光明寺〔東善寺・東漸寺〕（こうみょうじ）	

所在地：山梨市加納岩町上神内川	
創立：天長年間（824～834）〔国志〕	
文献：『甲斐国志』巻之75佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻4	
備考：古くは東善（漸）寺と号すが、元和2年（1616）に改宗し光明寺に改称	
No 25：清水寺（せいすいじ）	
所在地：山梨市市川	
創立：早魃祈願のため行基が開創〔寺伝〕	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2、『甲斐国社記・寺記』巻2	
備考：当初は竜之沢という所にあつて岩清水と称していたが、大永元年（1521）移転中興する〔寺記〕。	
No 26：銅印出土地	
所在地：山梨市八幡北上ノ原	
文献：『日下部遺跡調査報告書』山梨市教育委員会 1987	
備考：上野晴朗は「主全私印」と読み、郡衙に係する施設があった可能性を指摘している。	
No 27：普賢寺（ふげんじ）	
所在地：山梨市北	
創立：建仁元年（1201）〔国志〕	
調査：踏査（1991）	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2	
備考：古昔修験道の盛なりし時は、窪八幡普賢寺・藤木法光寺の類皆修験の渠魁なる〔国志〕	
No 28：狐塚古墳（きつねづかこふん）	
所在地：東山梨郡春日居町鎮目字日陰	
文献：菊島（坂本）美夫「狐塚古墳（春日居町）稲荷塚（一宮町）及び葉舞場古墳（御坂町）出土遺物の集成」『甲斐考古』9－2 1972、坂本美夫「先史時代・古墳時代」『春日居町誌』1988	
備考：銅鏡あり	
No 29：国府遺跡（こおいせき）	
所在地：東山梨郡春日居町鎮目	
布目瓦：若干あり	
文献：『国府遺跡』I～V 春日居町教育委員会 1989～1993	
備考：礎石建物跡2棟（正倉群か）	
No 30：長谷寺（ちょうこくじ）	
所在地：東山梨郡春日居町鎮目字菩提	
創立：養老6年（722）行基が開創〔国志〕	
布目瓦：丸瓦・平瓦	
調査：試掘（1991.11.20～12.13）本書第2章参照	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2・巻之38古蹟部第1、『甲斐国社記・寺記』巻2、『年報』8 山梨県埋蔵文化財センター 1992	
No 31：鎮目寺（ちんもくじ）	
所在地：東山梨郡春日居町鎮目	
創立：養老年間（717～724）行基が開創〔国志〕	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2	
No 32：寺の前古墳（てらのまえこふん）	
所在地：東山梨郡春日居町鎮目字寺の前	
文献：坂本美夫「先史時代・古墳時代」『春日居町誌』1988	
備考：銅鏡あり	
No 33：寺本廃寺（てらもとはいじ）	
所在地：東山梨郡春日居町寺本字道万町・神東町・山王町・後町	
布目瓦：単弁八弁蓮華文軒丸瓦（白鳳期）・複弁八弁蓮華文軒丸瓦（天平期）、瓦は川田瓦窯跡	

から供給され、甲斐国分寺跡と同范の軒丸瓦あり	
調査：発掘（1981・1982・1986）	
文献：『甲斐国志』巻之3村里部第1、『寺本廃寺第1・2・3次発掘調査報告書』春日居町教育委員会1988、佐野勝廣「寺本廃寺の軒瓦について」『山梨考古学論集』Ⅱ 1989	
備考：金堂・塔・講堂・僧房・中門・南門など確認	
No 34：雲峰寺（うんぼうじ）	
所在地：東山梨郡牧丘町袖口字小倉原	
創立：仁寿年間（851～854）〔寺記〕	
仏像：十一面観音像	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2、『甲斐国社記・寺記』巻2、『牧丘町誌』1980	
備考：袖口の入会山中高天原という所から、二本松へ、さらに今的小倉に移る〔牧丘町誌〕	
No 35：慶徳寺（けいとくじ）	
所在地：東山梨郡牧丘町倉科	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2、『甲斐国社記・寺記』巻2、『牧丘町誌』1980	
備考：古くは倉科地区間瀬原にあり景徳院と号すが、建久年間（1190～1199）に焼廃せり〔牧丘町誌〕	
No 36：洞雲寺（とううんじ）	
所在地：東山梨郡牧丘町北原	
創立：天正年間（1573～1592）創建〔国志〕	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺第2部、『牧丘町誌』1980	
備考：建久8年（1193）建立の安養寺が前身〔牧丘町誌〕	
No 37：普門寺（ふもんじ）	
所在地：東八代郡牧丘町西保下	
創立：建久6年（1195）〔国志〕	
仏像：木造薬師如来坐像（藤原期、県文化財）	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之74佛寺部第2	
No 38：祝（いわい）	
所在地：東山梨郡勝沼町祝	
布目瓦：表面採集	
調査：踏査（1990）	
No 39：三岳寺（さんがくじ）	
所在地：東山梨郡勝沼町菱山字寺沢（宮岩山中腹）	
調査：踏査（1990）	
備考：三光寺の前身	
No 40：三光寺（さんこうじ）	
所在地：東山梨郡勝沼町菱山字二本地蔵	
創立：推古天皇3年（595）秦川（河）勝の建立で三岳寺と号した〔寺記〕、和銅年間（708～715）に三光寺と改める〔勝沼町誌〕	
仏像：養老3年（719）天正天皇から不動明王が下賜され勅願所となる。その明王像は元慶4年（880）に今の大滝沢へ移された（大滝不動尊）〔寺記〕	
調査：踏査（1990）	
文献：『甲斐国志』巻之75佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻4、『勝沼町誌』1962、『勝沼町史料集成』1973	
備考：当寺はもと寺沢にあり、康永元年（1342）に現在地へ移転。境内から「天平二年（730）三月二日」銘のある磐が出土している〔勝沼町誌〕。	

Na 41：真光寺（しんこうじ）
所在地：東山梨郡勝沼町山字上野
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国社記・寺記』巻4、『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3、『勝沼町誌』1962
備考：聖徳太子伝説をもつ天台宗の霊場であったという【勝沼町誌】

Na 42：仙光寺（せんこうじ）
所在地：東山梨郡勝沼町等々力宮ノ脇
創立：推古天皇6年（598）二本杉と称する所に一字を建立【勝沼町誌】
調査：踏査（1990）
文献：『勝沼町誌』1962
備考：引仁2年（811）諏訪之原に真栄が一字を建立し、天台宗に改める。永祿年間甲越戦端を開くにあたり、宮ノ脇に寺を移した。

Na 43：大善寺〔柏尾寺・柏尾山寺〕（だいぜんじ・かしおじ・かしおさんじ）
所在地：東山梨郡勝沼町勝沼字道上
創立：養老2年（718）行基が開創【国志】、戦国期には天平4年創立説あり
仏像：本尊の薬師如来像および両脇侍像・日光菩薩立像・月光菩薩立像は一本造りの平安前期の作（国重文）
布目瓦：丸瓦・平瓦、白鳳期の平瓦（表面採集）
調査：試掘（1993.12.13～21）本書第2章参照
文献：『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻2、『勝沼町誌』1962
備考：康和5年（1103）銘の経筒には「柏尾山寺往生院」とある。

Na 44：福泉寺址（ふくせんじし）
所在地：東山梨郡勝沼町菱山庄屋敷
創立：寛治7年（1093）等々力南窪に一字を建立し、後に之を寺とした【国志】
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3、『勝沼町誌』1962

Na 45：不動寺（ふどうじ）
所在地：東山梨郡勝沼町中原（旧牛奥村）
創立：元慶3年（879）〔三光寺記には元慶4年（880）とあり〕三岳寺住職金界坊阿闍梨が大滝山中に建立【勝沼町誌】
調査：踏査（1990）
文献：『勝沼町誌』1962
備考：後に中原に移転する。

Na 46：万福寺（まんぶくじ）
所在地：東山梨郡勝沼町等々力
創立：推古天皇12年（604）益浦法師と国司秦河勝により開かれた【勝沼町誌】
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3、『甲斐国社記・寺記』巻4、『勝沼町誌』1962
備考：馬蹄石（駒塚）ともいう聖徳太子伝説をもつ石あり【勝沼町誌】

Na 47：絵見堂址（えみどうし）
所在地：東山梨郡勝沼町等々力
調査：踏査（1990）
備考：巨摩郡武川に天眠寺あり、之を移して絵見観音を祀る【勝沼町誌】

Na 48：山之神遺跡（やまのかみいせき）
所在地：東山梨郡勝沼町
布目瓦：寺本廃寺と同範の素弁八葉蓮華文軒丸瓦

Na 49：立正寺（りっしょうじ）
所在地：東山梨郡勝沼町休息

創立：大宝2年（702）役の小角が創立【勝沼町誌】
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3、『勝沼町誌』1962
備考：はじめ地藏寺と称すが、長和4年（1015）に胎藏寺、建治2年（1276）に立正安国寺と改称【勝沼町誌】

Na 50：観音寺（かんのんじ）
所在地：東八代郡石和町市部
創立：未詳【国志】
文献：『甲斐国社記・寺記』巻2、『甲斐国志』巻之76 佛寺部第4

Na 51：清光院（せいこういん）
所在地：東八代郡石和町（小石和郷）
創立：逸見清光（1199年没）が創建【国志】
文献：『甲斐国志』巻之82 佛寺部第10
備考：信玄によって甲府市岩窪町の現在地に移され円光院と改称された【国志】

Na 52：大蔵経寺〔大蔵寺・青獅子山松本寺〕（だいぞうきょうじ）
所在地：東八代郡石和町松本
創立：養老6年（722）に行基が開く【寺記】
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之74 佛寺部第2、『甲斐国社記・寺記』巻2
備考：当初は松本寺と称したが応永4年中興し現寺名に改称【国志】

Na 53：松本塚ノ越遺跡（まつもとつかのこしいせき）
所在地：東八代郡石和町松本
布目瓦：平瓦（奈良時代、甲斐国分寺の瓦と近似）
調査：発掘（1990）
文献：『松本塚ノ越遺跡』石和町教育委員会 1991

Na 54：姥塚遺跡（うばづかいせき）
所在地：東八代郡御坂町井之上
調査：発掘（1980・1981）
文献：『姥塚・姥塚無名墳』山梨県埋蔵文化財センター 第24集 1987、瀬田正明 1992
備考：腰帯具【銅製巡方（16号住）】

Na 55：大野寺〔福光園寺〕（おおのじ・ふくこうおんじ）
所在地：東八代郡御坂町大野寺
創立：未詳、保元年間（1157～1159）再興【国志】
仏像：木造香王観音立像（藤原期の一本造り）
文献：『甲斐国志』巻之77 佛寺部第5・巻之41 古蹟部第4
備考：天正2年に現在の福光園寺に改称

Na 56：半行寺遺跡（はんぎょうじいせき）
所在地：東八代郡御坂町成田字半行寺
布目瓦：平瓦・丸瓦
調査：試掘（1993.12.22～27）本書第2章参照
文献：『年報』10 山梨県埋蔵文化財センター 1994

Na 57：方八丁【国衙推定地】（ほうはっちょう）
所在地：東八代郡御坂町金川原字方八丁
調査：踏査（1990）

Na 58：横畑遺跡【国衙推定地】（よこばたけいせき）
所在地：東八代郡御坂町成田字南畑
調査：試掘（1994.11.21～12.8）本書第2章参照
文献：『年報』11 山梨県埋蔵文化財センター 1995

備考：腰帯具【石製丸軀】、御坂町国衙字堀之内・宮本に隣接

Na 59：大原遺跡（おおはらいせき）
所在地：東八代郡一宮町大原・南権現堂
布目瓦：あり
調査：発掘（1989）
文献：『大原遺跡発掘調査概報』一宮町遺跡調査会・教育委員会 1990
備考：灰釉陶器製の浄瓶、銅鏡、腰帯具【石製巡方2（21号住、A8-B20）、石製丸軀（E59号住）、石製鈍尾（W30号住）、銅製鈍尾】、硯

Na 60：甲斐国分寺跡（かいこくぶんじあと）
所在地：東八代郡一宮町国分
創立：天平13年（741）国分寺建立の詔
布目瓦：軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦・道具瓦、川田瓦窯跡・土器瓦窯跡から供給
調査：発掘（1983～1987）
文献：『甲斐国志』巻之40 古蹟部第3・巻之76 佛寺部第4、『甲斐国社記・寺記』巻2、『甲斐国分寺跡』一宮町教育委員会 1990
備考：1922年国史跡指定

Na 61：甲斐国分尼寺跡（かいこくぶんにじあと）
所在地：東八代郡一宮町東原
創立：天平13年（741）国分寺建立の詔
布目瓦：軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦
調査：踏査（1990）、発掘（1990・1994）
文献：『一宮町誌』1967、『甲斐国分尼寺遺跡』猪股喜彦・『1990年度下半期 遺跡調査発表会 旨』山梨県埋蔵文化財センター 1991、『甲斐国分尼寺跡現地説明会』一宮町教育委員会 1994、『甲斐国分尼寺跡現況図』は瀬田正明氏提供（1995作成）
備考：1949年国分尼寺跡と認定され国史跡指定、腰帯具【銅製巡方（3-17号住）】

Na 62：楽音寺（がくおんじ）
所在地：東八代郡一宮町塩田
創立：推古天皇2（594）開創【寺記】、天平10年（738）行基が彫刻安置して寺基を確立した【寺記】
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之76 佛寺部第4、『甲斐国社記・寺記』巻2、『一宮町誌』1967

Na 63：車地藏遺跡（くるまじぞういせき）
所在地：東八代郡一宮町末木
布目瓦：あり

Na 64：慈眼寺（じげんじ）
所在地：東八代郡一宮町末木
創立：不詳、文治年間（1185～1190）に宍日上人が中興【寺記】
仏像：木造薬師如来坐像・地藏菩薩像・十二神将像・神像（藤原期、県文化財）
文献：『甲斐国志』巻之76 佛寺部第4、『甲斐国社記・寺記』巻2、『一宮町誌』1967
備考：【国志】によると、宍日上人の没年を文明2年（1470）としている。

Na 65：地藏寺（じぞうじ）
所在地：東八代郡一宮町西田（旧地藏堂村）
創立：地藏尊は聖徳太子の作【国志】
文献：『甲斐国志』巻之76 佛寺部第4、『甲斐国社記・寺記』巻2、『一宮町誌』1967

Na 66：釈迦堂遺跡群【野呂原遺跡】（しゃかどういせきぐん【のろはらいせき】）
所在地：東八代郡一宮町野呂原（飛び地）
文献：『釈迦堂』山梨県埋蔵文化財センター

<p>調査報告第22集 1987</p> <p>備考：腰帶具〔銅製巡方〕・鉄製紡錘車・鉄製鑽・隆平永宝（14号住）</p>	<p>文 献：『下長崎遺跡・両の木神社遺跡』山梨県埋蔵文化財センター報告第44集 1989</p>	<p>社記・寺記』巻2</p>
<p>№ 67：千米寺廃寺〔千平寺、千平地、銭米寺〕（せんべいじはいじ）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町千米寺</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之5 村里部第3</p> <p>備考：千米寺の廃蹟あり、これに因り村名を得る〔国志〕</p>	<p>№ 78：久保遺跡（くばいせき）</p> <p>所在地：東八代郡八代町北字久保</p> <p>布目瓦：素弁8 葉蓮華文軒丸瓦・平瓦</p> <p>調査：踏査（1990）久保B遺跡</p> <p>文 献：『八代町誌』1975</p>	<p>№ 88：常楽寺（じょうらくじ）</p> <p>所在地：東八代郡境川村藤壑</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8</p> <p>備考：本尊正観音は行基の作〔国志〕</p>
<p>№ 68：大積寺跡（たいしゃくじあと）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町土塚</p> <p>布目瓦：軒平瓦・丸瓦・平瓦</p> <p>調査：試掘（1991.11.20～12.13）本書第2章参照</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之40 古蹟寺部第3、『一宮町誌』1967、『年報』8 山梨県埋蔵文化財センター 1992</p>	<p>№ 79：建久寺址〔建境寺・見京地〕（けんきゅうじ・けんきょうじ）</p> <p>所在地：東八代郡八代町奈良原</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之41 古蹟部第4、『八代町誌』巻下 1976、『東八代郡誌』1979</p> <p>備考：貞永年間（1232～1233）に、野高山建久寺と称するものあり〔東八代郡誌〕</p>	<p>№ 89：大石寺（たいしゃくじ）</p> <p>所在地：東八代郡境川村石橋</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之95 人物部第4、『甲斐国社記・寺記』巻4</p>
<p>№ 69：筑前原塁跡（ちくぜんばらるいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町大字東原</p> <p>布目瓦：平瓦</p> <p>調査：踏査（1990）、発掘（1983）</p> <p>文 献：『筑前原塁跡発掘調査概報』一宮町教育委員会 1983</p> <p>備考：土塁の構築時期は10世紀後半以降</p>	<p>№ 80：広済寺（こうさいじ）</p> <p>所在地：東八代郡八代町奈良原</p> <p>創立：康応年間（1389～1390）〔寺記〕</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国社記・寺記』巻2</p>	<p>№ 90：智光寺（ちこうじ）</p> <p>所在地：東八代郡境川村藤壑</p> <p>創立：天喜年間（1053～1058）〔東八代郡誌〕</p> <p>仏 像：虚空蔵菩薩像（県文化財）は同村大窪の朝霧から現在地に移したという〔東八代郡誌〕。</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻3、『東八代郡誌』1979</p>
<p>№ 70：東泉寺址（とうせんじし）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町千米寺</p> <p>布目瓦：表探</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之40 古蹟寺部第3</p>	<p>№ 81：町屋遺跡〔御所遺跡〕（まちやいせき・ごしょいせき）</p> <p>所在地：東八代郡八代町米倉</p> <p>布目瓦：あり</p> <p>調査：踏査（1990）</p>	<p>№ 91：温湯遺跡（ぬくゆいせき）</p> <p>所在地：東八代郡境川村大窪字温湯</p> <p>布目瓦：完形品の丸瓦が出土</p> <p>調査：試掘（1992.11.5～10）本書第2章参照</p> <p>文 献：『境川村誌 資料編』1990、『年報』9 山梨県埋蔵文化財センター 1993</p>
<p>№ 71：桜畑遺跡（さくらばたけいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町東原（勝沼バイパス№313）</p> <p>調査：発掘（1973）</p> <p>文 献：『古代甲斐国の考古学調査』山梨県教育委員会 1974</p> <p>備考：腰帶具〔金属製蛇尾（3号住）〕</p>	<p>№ 82：みそっかす山（みそっかすやま）</p> <p>所在地：東八代郡八代町竹居大口山開拓</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>備考：古代寺院伝承地</p>	<p>№ 92：法花寺（ほっけじ）</p> <p>所在地：東八代郡境川村大黒坂法華寺</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>備考：古代寺院伝承地</p>
<p>№ 72：松原遺跡（まつばらいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町末木</p> <p>布目瓦：あり</p>	<p>№ 83：妙善寺址（みょうぜんじし）</p> <p>所在地：東八代郡八代町岡字妙善屋敷</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>備考：古代寺院伝承地</p>	<p>№ 93：室屋遺跡（むろやいせき）</p> <p>所在地：東八代郡境川村藤壑</p> <p>布目瓦：宝相華唐草文軒平瓦・平瓦〔ムシロ伏圧痕もつものあり（伝出土）〕</p> <p>文 献：『境川村誌 資料編』1990</p> <p>備考：瓦窯跡か</p>
<p>№ 73：豆塚遺跡（まめづかいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町末木</p> <p>布目瓦：字瓦・丸瓦・平瓦、格子目叩痕や畳表状圧痕をもつものあり</p> <p>文 献：『豆塚遺跡・東新居遺跡』山梨県埋蔵文化財センター報告第4集 1984</p>	<p>№ 84：瑠伽寺（ゆがじ）</p> <p>所在地：東八代郡八代町永井</p> <p>創立：霊龜元年（715）に無音律師が創建〔国志〕</p> <p>仏 像：塑像断片の薬師如来は昭和18年に東京国立博物館に移された</p> <p>布目瓦：軒平瓦・丸瓦・平瓦</p> <p>調査：試掘（1992.11.11～18）本書第2章参照</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之77 佛寺部第5 巻之44 古蹟部第4、『甲斐国社記・寺記』巻2、『八代町誌』巻下 1976、『年報』9 山梨県埋蔵文化財センター 1993</p>	<p>№ 94：稲荷塚古墳（いなりづかこふん）</p> <p>所在地：東八代郡中道町下向山字東山</p> <p>文 献：『稲荷塚古墳』山梨県埋蔵文化財センター報告第38集 1988</p> <p>備考：銅鏡（石室内部から）</p>
<p>№ 74：満願寺址（まんがんじし）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町竹原田</p> <p>仏 像：木造十一面観音立像（平安後期、県文化財）は行基の作〔国志〕</p> <p>調査：踏査（1991）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之76 佛寺部第4、『甲斐国社記・寺記』巻3、『一宮町誌』1967</p>	<p>備考：伝承にいう国宗寺とは建久寺よりはむしろ瑠伽寺をいうのではないか〔八代町誌〕</p>	<p>№ 95：円楽寺（えんらくじ）</p> <p>所在地：東八代郡中道町右左口字七覚</p> <p>創立：大宝元年（701）役小角が開創〔国志〕</p> <p>仏 像：役行者像〔延暦2年（1309）の修造銘あり〕と二鬼像は鎌倉初頭の作、現存中で国内最古</p> <p>布目瓦：表面採集のみ</p> <p>調査：試掘（1994.11.10～12.8）本書第2章参照、</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻2、『年報』11 山梨県埋蔵文化財センター 1995 「中道町円楽寺役行者像」西川新次 『甲斐中世史と仏教美術』植松又次先生頌寿記念論文集 1994</p>
<p>№ 75：矢倉遺跡（やくらいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町東原</p> <p>布目瓦：あり</p>	<p>№ 86：竜安寺〔真福寺〕（りゅうあんじ）</p> <p>所在地：東八代郡八代町米倉金山</p> <p>創立：治安元年（1021）開基し真福寺と号す〔国志〕、真福寺は堂宇とともに焼失し、金山に移り竜安寺と改称〔八代町誌〕</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之77 佛寺部第5、『甲斐国社記・寺記』巻3、『八代町誌』巻下 1976</p>	<p>№ 96：旧心経寺址（きゅうしんぎょうじし）</p> <p>所在地：東八代郡中道町心経寺字上原</p>
<p>№ 76：竜の木遺跡（りゅうのきいせき）</p> <p>所在地：東八代郡一宮町末木</p> <p>文 献：瀬田正明（1992）</p> <p>備考：腰帶具〔石製巡方（1号住）〕</p>	<p>№ 87：聖応寺（しょうおうじ）</p> <p>所在地：東八代郡境川村大黒坂</p> <p>創立：康暦元年（1379）</p> <p>調査：踏査（1990）</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之77 佛寺部第5、『甲斐国</p>	<p>№ 97：心経寺横手遺跡（しんぎょうじよこていせき）</p> <p>所在地：東八代郡中道町心経寺字横手</p> <p>創立：心経寺は不詳、安国寺は暦応2年（1339）創建〔国志〕</p> <p>布目瓦：平瓦・丸瓦</p> <p>調査：試掘（1994.1.10～11）本書第2章参照</p> <p>文 献：『甲斐国志』巻之42 古蹟部第5・巻之80 佛</p>

寺部第8、『年報』10 山梨県埋蔵文化財センター 1994
備考：心経寺が安国寺の前身寺院として存在した、またこの心経寺と安国寺が一時併存したともされる〔国志〕

No 98：竜華院〔大祥寺〕（りゅうげいん・だいしゅうじ）
所在地：東八代郡中道町上曽根
創立：大同元年（806）空海により開創〔国志〕
文献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻3
備考：もとは境川村にあり、暦応元年（1338）現在地に移り大祥寺と改称〔国志〕

No 99：大福寺（だいふくじ）
所在地：東八代郡豊富村大鳥居
創立：天平11年（739）〔寺記〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 100：法久寺（ほうきゅうじ）
所在地：東八代郡豊富村高部
創立：開基は浅利与市義成〔承久3年（1221）没〕〔国志〕
文献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 101：永泰寺（えいたいじ）
所在地：西八代郡上九一色村古閑
創立：東大寺の僧尙然が当寺背後の山頂に釈迦像を安置したことに始まる〔国志〕
仏像：木造釈迦如来立像（清涼式釈迦如像、県文化財）
文献：『甲斐国志』巻之80 佛寺部第8、『甲斐国社記・寺記』巻2、『上九一色村誌』1985

No 102：光勝寺（こうしょうじ）
所在地：西八代郡三珠町上野
創立：草創知れず、承久年間（1219～1222）より住持の牌九代あり〔国志〕、承久2年（1220）の開基〔寺記〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之86 佛寺部第14、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 103：不動寺（ふどうじ）
所在地：西八代郡三珠町
創立：空海が開山〔国志〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13

No 104：薬王寺（やくおうじ）
所在地：西八代郡三珠町上野
創立：未詳、開基は尊澄〔国志〕、天平18年（746）行基が霊場として開く〔寺記〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之86 佛寺部第14、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 105：源昌寺（げんしょうじ）
所在地：西八代郡市川大門町印沢
調査：踏査（1991）
文献：『甲斐国志』巻之86 佛寺部第14、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 106：平塩寺址〔白雲寺〕（へいえんじし）
所在地：西八代郡市川大門町平塩岡
創立：貞観7年（865）〔国志〕、天平7年（735）に行基が開創〔市川大門町誌〕
調査：踏査（1990）

文献：『甲斐国志』巻之50 古蹟部第13、『甲斐国社記・寺記』巻2、『市川大門町誌』1967

No 107：宝寿院（ほうじゅいん）
所在地：西八代郡市川大門町平塩岡寺
創立：勝宝7年（755）〔寺記〕
文献：『甲斐国志』巻之86 佛寺部第14、『甲斐国社記・寺記』巻2
備考：平塩寺の子院天台百坊の1つとされる

No 108：宝聚寺（ほうじゅじ）
所在地：西八代郡市川大門町
創立：承和3年（836）快超法印が開山〔国志〕
調査：踏査（1991）
文献：『甲斐国志』巻之86 佛寺部第14

No 109：慈観寺（じかんじ）
所在地：西八代郡下部町道
創立：天平勝宝年間（749～757）行基が開創〔国志〕、神亀5年（728）〔寺記〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之88 佛寺部第16、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 110：妙円寺址（みょうえんじし）
所在地：西八代郡下部町市之瀬字坊平
創立：建治3年（1277）興立〔国志〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之88 佛寺部第16

No 111：権現堂遺跡（ごんげんどういせき）
所在地：南巨摩郡増穂町大字春米字南山
調査：踏査（1990）、発掘（1975～78）
文献：『権現堂遺跡』増穂町教育委員会 1989
備考：多量の泥塔、泥塔焼成遺構2基

No 112：最勝寺（さいしょうじ）
所在地：南巨摩郡増穂町最勝寺
創立：聖武天皇の勅願で西大寺の忍正が開創〔国志〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『甲斐国社記・寺記』巻2
備考：忍正は鎌倉末期の真言律宗僧の忍性のことであろうか。

No 113：鷹尾寺址（たかおじし）
所在地：南巨摩郡増穂町平林
創立：宝亀年間（770～781）〔国志〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13
備考：明治維新後の神仏分離で寺号は廃され氷室神社となった

No 114：明王寺（みょうおうじ）
所在地：南巨摩郡増穂町春米
創立：宝亀年間（770～781）〔国志〕
仏像：木造薬師如来立像（檜の一本造り、平安後期、国重文）。
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『甲斐国社記・寺記』巻2、『増穂町誌』1976

No 115：大聖寺（だいしょうじ）
所在地：南巨摩郡中富町八日市場
創立：承安元年（1171）〔寺記〕
仏像：木造不動明王坐像（国重文）
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国社記・寺記』巻2、『中富町誌』1971

No 116：常説寺（円乗寺・萩寺）（じょうせつじ）

所在地：中巨摩郡敷島町吉沢
創立：引仁14年頃（832）円乗寺と称した〔寺記〕
文献：『甲斐国志』巻之81 佛寺部第9、『甲斐国社記・寺記』巻4
備考：文永年間（1264～1275）に常説寺と改めた。通称は萩寺

No 117：天狗沢瓦窯跡（てんぐざわがようせき）
所在地：中巨摩郡敷島町天狗沢字北川
布目瓦：軒丸瓦・平瓦・丸瓦
調査：発掘（1986・1987・1988）、踏査（1990）
文献：『山梨県生産遺跡分布調査報告書』山梨県埋蔵文化財センター報告第51集 1990、『天狗沢瓦窯跡発掘調査報告書』敷島町教育委員会 1990
備考：白鳳時代の瓦窯跡

No 118：松ノ尾遺跡（まつのおいせき）
所在地：中巨摩郡敷島町中下条
仏像：銅製阿弥陀如来坐像2点（写真の1点は住居跡内出土、高さ5.7cm、重さ90g、11世紀の作。もう1点は詳細不明）
調査：発掘（1995）敷島町教育委員会



松ノ尾遺跡出土の銅製阿弥陀如来坐像

No 119：峰観音堂（みねのかんのんどう）
所在地：中巨摩郡敷島町牛句
創立：弘仁年間（810～824）に空海が創立〔国志〕
文献：『甲斐国志』巻之81 佛寺部第9、『敷島町誌』1966

No 120：薬師寺（やくしじ）
所在地：中巨摩郡敷島町
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之81 佛寺部第9、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 121：長谷寺（ちょうこくじ）
所在地：中巨摩郡八田村榎原
創立：天平年間（729～749）に行基が建立〔国志〕
調査：踏査（1990）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 122：慈眼寺（じげんじ）
所在地：中巨摩郡白根町上今諏訪
仏像：薬師如来坐像・十二神像・神像・地藏菩薩像（藤原期、県文化財）
調査：踏査（1991）
文献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 123：諏訪神社（すわじんじや）
所在地：中巨摩郡白根町上今諏訪
仏 像：木造菩薩形立像（藤原期、県文化財）隣接する慈眼寺仏像群の一体か

No 124：善応寺（ぜんのおうじ）
所在地：中巨摩郡白根町大嵐
創 立：鎌倉時代、古くは真言宗寺院と推定される〔白根町誌〕
仏 像：千手観音像（一木造、藤原期、八田村の長谷寺十一面観音像と兄弟仏という）
文 献：『甲斐国志』巻之84 佛寺部第12、『甲斐国社記・寺記』巻2、『白根町誌』1969
備 考：裏山から平安期の土製経筒が出土

No 125：法善寺（ほうぜんじ）
所在地：中巨摩郡若草町加賀美
創 立：引仁13年（882）空海が開創した〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『若草町誌』1990
備 考：当初は櫛形町山寺あるいは若草町寺部にあったと言われる。大同元年（806）神徳が逸見の地に開いた永禪寺という寺院が前身であるとも伝える。その後廃絶し、建久年間（1192～1199）に再建し加賀美寺と称す〔国志〕

No 126：宝珠寺（ほうじゅじ）
所在地：中巨摩郡櫛形町山寺
仏 像：木造五智如来・脇侍坐像（藤原期、県文化財）
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 127：西光寺址（さいこうじし）
所在地：中巨摩郡甲西町鮎沢
創 立：神亀2年（725）に行基が開創〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13
備 考：たび重なる災害によりすべての建物と本尊を失う。

No 128：深向院〔信光寺〕（しんこういん）
所在地：中巨摩郡甲西町宮沢
創 立：天長年間（824～833）に空海が草創〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13
備 考：武田五郎信光が再興し信光寺と称す、さらに室町初期に深向院と改称〔国志〕

No 129：古長禪寺（こちょうぜんじ）
所在地：中巨摩郡甲西町鮎沢
創 立：正和年間（1312～1317）夢窓国師が開創
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之85 佛寺部第13

No 130：永源寺（えいげんじ）
所在地：中巨摩郡玉穂町下河東
創 立：開基は加藤梵玄、天徳元年（957）と位牌にあるが、永享9年（1473）の間違え〔国志〕
仏 像：聖観音立像（藤原期、国重文）は末寺の法輪山普明寺（下河東、廃寺）から移されたものの
文 献：『甲斐国志』巻之79 佛寺部第7、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 131：歓盛院（かんせいいん）
所在地：中巨摩郡玉穂町下三条
創 立：創建は文明年間（1781～1789）〔国志〕
仏 像：薬師如来坐像（引仁～藤原期、国重文）

文 献：『甲斐国志』巻之79 佛寺部第7
No 132：願成寺（がんじょうじ）
所在地：韭崎市神山町鍋山
創 立：宝亀2年（771）草創、武田信義が再興〔寺伝〕
仏 像：木造阿弥陀如来像・阿弥陀如来両脇侍像（藤原末期より鎌倉初期、国重文）
文 献：『甲斐国志』巻之84 佛寺部第12、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 133：昌福寺（しょうふくじ）
所在地：韭崎市中田町中条
創 立：未詳、永禄9年再興〔韭崎市誌〕
仏 像：行基作の伝承をもつ十一面観音立像・梵天立像・伝馬頭観音立像（藤原期、県文化財）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻3、『韭崎市誌』1979
備 考：古くは真言宗寺院として創建

No 134：半縄田遺跡（はんなわたいせき）
所在地：韭崎市丹野町入戸野
調 査：発掘（1994）韭崎市教育委員会
備 考：2間×3間の掘立柱建物跡、瓦塔片1点

No 135：法雲寺（ほううんじ）
所在地：韭崎市丹野町下円井
創 立：養老6年（722）行基小庵を結ぶ〔国志〕
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之84 佛寺部第12、『甲斐国社記・寺記』巻3

No 136：宝生寺（ほうしょうじ）
所在地：韭崎市旭町上条南割
仏 像：虚空蔵菩薩は行基作〔国志〕
文 献：『甲斐国志』巻之84 佛寺部第12、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 137：宮ノ前遺跡（みやのまえいせき）
所在地：韭崎市藤井町駒井字宮ノ前
布目瓦：宮ノ前第2遺跡と同一の瓦片
文 献：『宮ノ前遺跡』韭崎市教育委員会 1992
備 考：141号住から「寺」の刻書文字をもつ坏が出土、腰帯具〔銅製鉈尾・石製巡方（287号住）〕

No 138：宮ノ前第2遺跡（みやのまえだいにいせき）
所在地：韭崎市藤井町駒井字宮ノ前
布目瓦：平瓦・丸瓦・鬼瓦・鬘斗瓦、（軒瓦は含まれず）
文 献：『宮ノ前第2遺跡 北堂地遺跡』韭崎市教育委員会 1991
備 考：集落内寺院1棟（4間×5間の四面廂付建物跡）、瓦塔片15点

No 139：福性院（ふくしょういん）
所在地：北巨摩郡明野村小笠原
創 立：貞観年間（859～876）に円仁が開創〔寺記〕、長和6年（1017）の古碑の存在を伝える〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 140：海岸寺（かいがんじ）
所在地：北巨摩郡須玉町上津金
仏 像：木造千手観音像（国重文）は昭和初年盗難に遭い所在不明
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻2
備 考：養老年間（717～724）に行基が開創し、現

在地の東2kmの心経寺山の奥に所在したという〔寺記〕。

No 141：見性寺（けんしょうじ）
所在地：北巨摩郡須玉町江草
創 立：城主江草兵庫助信康が創建
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 142：正覚寺（しょうかくじ）
所在地：北巨摩郡須玉町若神子
創 立：大治2年（1127）義清の父新羅三郎義光の位牌所となる〔国志〕、天永3年（1112）逸見義清が創建〔寺記〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻3
備 考：創建時は天台宗、村山北割（高根町）の地にあったと言う〔国志〕

No 143：大小久保遺跡（だいしょうくほいせき）
所在地：北巨摩郡須玉町若神子字大小久保
布目瓦：丸瓦・平瓦（4軒の住居跡内から）
文 献：『大小久保遺跡』須玉町埋蔵文化財調査報告第1集 1983
備 考：9世紀後半の土師器製作址

No 144：東漸寺（とうぜんじ）
所在地：北巨摩郡須玉町若神子
創 立：推古天皇20年（612）に聖徳太子が創建〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻2

No 145：大豆生田遺跡（まみょうだいせき）
所在地：北巨摩郡須玉町大豆生田
布目瓦：平瓦1点
文 献：『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告―北巨摩郡須玉町地内―』山梨県教育委員会 1976
備 考：緑釉陶器17片（唾壺1片を含む）、建物跡と考える列石遺構・配石遺構あり

No 146：竜円寺（りゅうえんじ）
所在地：北巨摩郡須玉町上津金
創 立：延喜18年（918）に相応和尚が開山
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11
備 考：比叡山相応和尚（延喜18年没）が甲州に來たりし事見えず〔国志〕

No 147：若神子古城址（わかみこじょうし）
所在地：北巨摩郡須玉町若神子
布目瓦：あり

No 148：東久保遺跡（ひがしくほいせき）
所在地：北巨摩郡高根町村山北割
文 献：『東久保遺跡』高根町教育委員会 1984
備 考：腰帯具〔石製巡方（20号住）〕

No 149：湯沢遺跡（ゆざわいせき）
所在地：北巨摩郡高根町下黒沢小字湯沢
布目瓦：1点
文 献：雨宮正樹「山梨県湯沢遺跡」『日本考古学年報』36 1986、萩原三雄（1986）
備 考：掘立柱建物跡15棟、堅穴住居跡27軒、柵列、隆平永寶、腰帯具2（巡方他）、官牧役所か

No 150：清光寺〔信立寺〕（せいこうじ）
所在地：北巨摩郡長坂町大八田

創 立：古くは信立寺と号したが正治元年（1199）に清光寺に改称〔国志〕。
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻3

№151：柳坪遺跡（やなぎつばいせき）
所在地：北巨摩郡長坂町大八田
調 査：発掘（1984）
文 献：『柳坪遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第13集 1986、『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書―北巨摩郡長坂・明野・韭崎地内』山梨県教育委員会 1975
備 考：腰帯具〔鉄製鉸具、石製巡方2、銅製巡方（19号住）〕

№152：妙林寺址（みょうりんじし）
所在地：北巨摩郡長坂町渋沢
創 立：養老4年（720）行基の開創で当初妙蓮院と称した〔長坂町誌〕
仏 像：木造薬師如来坐像（寄木造、藤原期、県文化財）
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻3、『長坂町誌』巻下 1990
備 考：もと長坂町塚川寺平にあり、永禄元年（1588）現地に転転する〔寺記〕

№153：城下遺跡（じょうしたいせき）
所在地：北巨摩郡大泉村谷戸
調 査：発掘（1981）
文 献：『城下・原田遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第58集 1990
備 考：腰帯具〔石製巡方2（8号住、E-8）・石製丸鞘2（2号住、E-8）〕、多量の墨書土器、貞観永宝、掘立柱建物跡7棟

№154：原田遺跡（はらだいせき）
所在地：北巨摩郡大泉村西井出
調 査：発掘（1981）
文 献：『城下・原田遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第58集 1990、瀬田正明（1992）
備 考：腰帯具〔石製巡方（4号住）〕、多量の墨書土器

№155：尾根遺跡（おねいせき）
所在地：北巨摩郡小淵沢町尾根
布目瓦：平瓦（表面採集）
文 献：藤森栄一「南信濃の古瓦」『信濃』13－9 1961

№156：前田遺跡（まえだいせき）
所在地：北巨摩郡小淵沢町下笹尾字前田
文 献：『前田』小淵沢町教育委員会 1983、『前田』小淵沢町教育委員会 小淵沢町埋蔵文化財調査報告第3集 1985
備 考：掘立柱建物跡・「寺」？の墨書をもつ土師器坏（平安時代）

№157：清泰寺（せいたいじ）
所在地：北巨摩郡白州町花水
創 立：大治元年（1126）に新羅三郎義光が開基〔寺記〕、逸見四郎清泰の開基〔国志〕
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之83 佛寺部第11、『甲斐国社記・寺記』巻3

№158：中村遺跡（なかむらいせき）
所在地：北巨摩郡大泉村西井出
調 査：発掘（1991）大泉村教育委員会
文 献：瀬田正明（1992）
備 考：腰帯具〔銅製巡方（5号住）〕

№159：宮間田遺跡（みやまだいせき）
所在地：北巨摩郡武川村三吹
調 査：発掘（1990）
文 献：『宮間田遺跡』武川村教育委員会 1988
備 考：腰帯具〔銅製巡方（82号住）〕「牧」（78号住）をはじめとして多数の墨書土器、堅穴住居跡94軒、掘立柱建物跡45棟、真衣野牧に関連か？

№160：西念寺（さいねんじ）
所在地：富士吉田市上吉田
創 立：養老3年（719）に行基が開創〔国志〕
仏 像：木造釈迦如来立像（清涼式釈迦像、県文化財）、十一面観音像（藤原期）
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下、『甲斐国社記・寺記』巻4
備 考：元亀3年（1572）に旧地古吉田から現在地に移る

№161：西方寺（さいほうじ）
所在地：富士吉田市小明見
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之89 佛寺部第17上、『甲斐国社記・寺記』巻4

№162：正福寺（しょうふくじ）
所在地：富士吉田市新倉
創 立：大同2年（807）空海が開基〔寺記〕
文 献：『甲斐国志』巻之89 佛寺部第17上、『甲斐国社記・寺記』巻4

№163：万年寺（まんねんじ）
所在地：富士吉田市小明見
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之89 佛寺部第17上、『甲斐国社記・寺記』巻4

№164：法泉寺（ほうせんじ）
所在地：南都留郡秋山村
創 立：寛仁3年（1019）〔国志〕
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下

№165：蓮華寺（れんげじ）
所在地：南都留郡足和田村大嵐
創 立：大同4年（809）空海が創造〔国志〕
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下、『甲斐国社記・寺記』巻4

№166：円通寺址〔真蔵院〕（えんつうじし）
所在地：大月市賑岡町岩殿
創 立：大同元年（806）行基が創造〔国志〕
調 査：踏査（1990）
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下、『甲斐国社記・寺記』巻2
備 考：真蔵院は近世に円通寺から独立したものの、承平3年（933）建立とされる三重塔の礎石と石段あり

№167：花井寺（かせいじ）
所在地：大月市七保町下和田
創 立：寛和2年（986）〔国志〕
布目瓦：あり？
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下

№168：宝鏡寺（ほうきょうじ）
所在地：大月市七保町林
創 立：大同2年（807）創造と伝えられる〔国志〕
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下

№169：観音堂（かんのどう）

所在地：北都留郡上野原町大野（大野村）
創 立：真言の道場七堂伽藍にして為朝の建立なり〔国志〕
文 献：『甲斐国志』巻之75 佛寺部第3
備 考：源為朝（1139～1177年）

№170：西光寺（さいこうじ）
所在地：北都留郡上野原町野田尻
調 査：踏査（1991）
備 考：天長元年（824）銘の古碑所蔵

№171：新町遺跡（しんまちいせき）
所在地：北都留郡上野原町
布目瓦：平瓦1点
文 献：『藤野町の埋蔵文化財』1987
備 考：藤野町日連杉遺跡出土の平瓦片と関連があらう（櫛原1992）

№172：法性寺〔蓮乗寺〕（ほうしょうじ）
所在地：北都留郡上野原町鶴島
創 立：当寺の前身は大同年間（806～810）に空海が開いた蓮乗寺〔上野原町誌〕
仏 像：木造阿弥陀如来坐像（藤原期、県文化財）
調 査：踏査（1991）
文 献：『甲斐国志』巻之90 佛寺部第17下、『甲斐国社記・寺記』巻2、『上野原町誌』1975

全般的に引用・参照した文献
櫛原功一 1990 「均等唐草文軒平瓦の変遷」『山梨県考古学協会誌』第3号
櫛原功一 1992 a 「甲斐国分寺瓦の変遷」『帝京大学山梨文化財研究報告』第4集
櫛原功一 1992 b 「平安時代の寺院址」『山梨県考古学協会誌』第5号
坂本美夫 1983 「甲斐の郡（評）郷制」『研究紀要』1 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
坂本美夫 1986 「甲斐国府―その環境と展望―」『研究紀要』1 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
末木 健 1990 「甲斐仏教文化の成立」『研究紀要』5 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
末木 健 1983 「山梨県における平安時代の遺跡について」『日本歴史』第426号
末木 健 1987 「甲斐白鳳時代寺院の一様相」『考古学雑誌』72巻－3号
瀬田正明 1992 「山梨県内出土の腰帯具について」『山梨県考古学協会誌』第5号
萩原三雄 1986 「八ヶ岳南麓における平安集落の展開」『山梨県考古学論集』山梨県考古学協会
福田正人 1992 「甲斐国における官衙」『山梨県考古学協会誌』第5号
『角川日本地名大辞典』19 山梨県 1984
『山梨百科事典』1989 山梨日日新聞社